

「一職場一改善運動」「職員提案」表彰式

3月23日、4階講堂で平成16年度一職場一改善運動、職員提案の表彰式が行われ、知事からは「改善提案を出すことは、これからの行政改革のために大切です」との激励の言葉がありました。また、受賞運動や受賞提案について、各職場や各受賞者から発表が行われました。

改善運動については、継続して取り組むようにお願いします。受賞提案については、今後、具体的な実施に向けて関係課と調整を進めていきます。



(写真・上)
知事と一職場一改善運動受賞者



(写真・左)
知事と職員提案受賞者

～ 知事のコメント ～

民間企業では一人で幾つもの改善提案を出すのは当たり前で、日本はそういう民間の努力の積み重ねで最先端の国になった。行政の場合においても、これからの行政改革のために、こうした取り組みが大切になる。

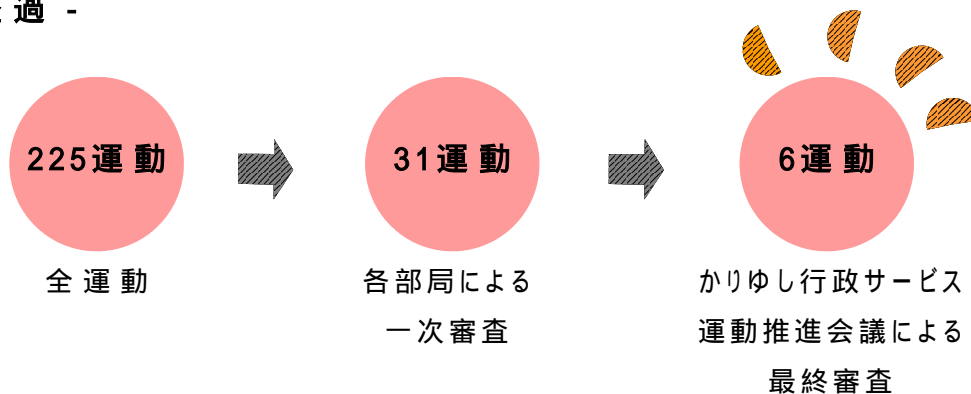
今日の提案では特に医療機器の再利用が良かった。本来の役割を終えた機器が産業振興の役に立つというのは大変に素晴らしい。

県民が行政に求めるサービス水準は年々高くなっていくが、財政状況を考えれば、県民の要求をすべて満たすことはできない。厳しい状況においては、いらぬ仕事をどんどん捨てていくことが大切である。

頭を使って柔軟な発想を持つことが県庁の発展につながる。県庁の発展は沖縄全体の発展ということになるので、みなさんには今後も頑張ってもらいたい。

< 一 職場 一 改善運動の審査結果 >

- 審査経過 -



最優秀賞

「知恵の和」

知事公室広報課
かりゆしリーダー：赤嶺 直哉

受賞理由： 県内外からの幅広い問い合わせに迅速・適正に対応するため、「知恵の和サーバー」を作成し、個々の職員の知識を蓄積・共有した成果は大きい。今後とも情報の集積及び内容の充実が予想され、情報提供の面で、県民サービスの向上が期待できる。また、職員間の情報交換が活発になり、職員の意識改革が図られたことも評価された。

優秀賞

「ビジュアルで・分かりやすく」

普天間飛行場・那覇港湾施設
返還問題対策室
かりゆしリーダー：中村 英淳

受賞理由： 県民への業務説明の際にパワーポイントを活用し、視覚的に理解しやすくしたことは、県民視点に立った行政運営を図り、県民ニーズを把握する上で効果は大きい。全職員で対応する体制ができていることも、県民サービス意識の向上が図られるという観点で評価できる。また、業務の効率化、用紙の減量などの成果にも結びつくものである。

県民サービス賞

「ホームページ拡充による 情報の提供」

八重山福祉保健所
かりゆしリーダー：島袋 用詳

受賞理由： 職員間の情報の共有化が図られ、行政サービスの向上へとつながっていること、提供情報を各課ごとに検討することにより、職員の意識改革が進んでいること、また、「犬拘留情報」等への問い合わせが多く、ホームページ拡充の効果が表れつつあることが評価された。

意識改革賞

「資源の有効活用による 構内美化運動」

消防学校
かりゆしリーダー：翁長 武俊

受賞理由： 各職員が勤務時間外を利用して花の苗作り・植栽・散水等を行い、構内の環境美化に取り組んでいる。今年度は、刈草・生ゴミ・廃油等を原料に培養土や肥料を自家培養したり、雨水や地下水を散水用に活用したりと、施設管理費の節減につなげていることや、職員や来校者などの環境美化意識やリサイクルへの関心度を高めたことが評価された。

全員参加賞

「語学力の向上」

平和祈念資料館
かりゆしリーダー：識名 昇

受賞理由： 外国人の来館者が多いことから、全職員による適切な対応をすべく、毎週1回の英会話教室を開くことで、英会話能力を向上させた成果は大きい。また、英会話に興味をもち、進んで学習する職員が増えており、意識改革も図られた点が評価された。

全庁展開運動特別賞

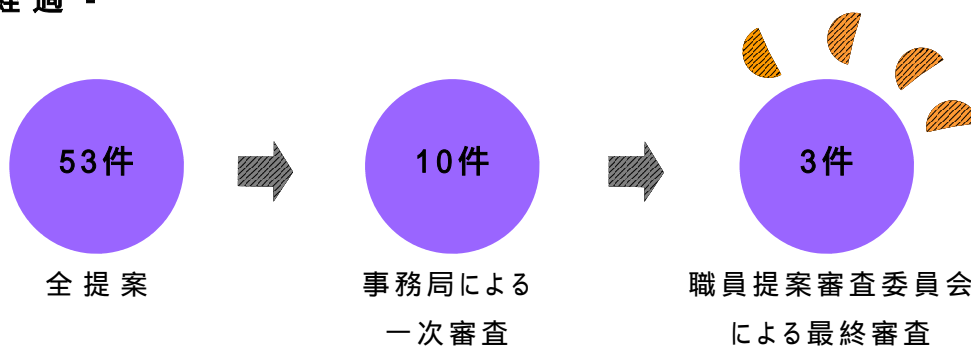
「PDFダイエット運動」

企画開発部企画調整室
かりゆしリーダー：親川 實

受賞理由： 室に止まることなく部全体として取り組んだ結果、各課(室)における紙の減量、コスト削減、事務の迅速化など事務改善が実現でき一定の評価を得られていることから、全庁的に運動を展開することでかなりの事務処理の効率化に寄与することが評価された。

< 職員提案の審査結果 >

- 審査経過 -



最優秀賞

「医療検査技術および医療廃棄機器の栽培漁業、 および畜産への応用」

南部病院 新垣 周三

提案要旨： 廃棄医療機器のなかで、100ボルト15アンペア内で使用可能で移動が簡単な超音波検査装置を利用することで、生きたままで肉質(和牛では霜降り状態、マグロではトロや身焼け)をみたり、その結果を即時にプリントして製品に表示したり、また、成長過程を観察するなど、養殖や畜産へ活用できる。

また、廃棄医療機器と技術者をそれらの試験場や研究所に派遣し共同研究することにより、高品質で高生産性の栽培技術および畜産技術を確立していくのに貢献する。

優 秀 賞

「小学校授業サポートボランティア助手制度の創設」

行政改革推進室 真栄城 香代子

提案要旨： 小学校の授業をサポートする助手(ボランティア)制度を学校単位で立ち上げる。(1) 専業主婦、退職教師、教員を目指す学生等比較的自由な時間があり、かつ小学校の先生の助手が務まるだけの知識(経験)を有する者で、ボランティアで授業の手伝いをするに意欲のある者を募集し、登録する。(2) 登録した者の中から、授業単位に助手を選任する。

入 選

「物品調達のアウトソーシング(コンビニ化)による業務改善」

住宅課 幸喜 敦

提案要旨： これまで内部で行っていた物品調達を外部の専門業者に委託することにより、物品の調達業務と保管スペースをアウトソースする。具体的には、受託業者によりコンビニエンスストア一化された店舗を本庁舎内(改善により生まれたスペースを活用)に設置し、カードによる物品の調達を行う。

表彰式、提案発表の様子

